

# 平成 29 年度 研究計画書

## Research Plan FY2017

講座名・職名 Course Title・Job Title	言語社会専攻 アジアⅡ講座 助教
氏名 Name	大塚行誠
専門分野 Academic Field	言語学

### 平成 29 年度 研究計画 (ホームページで公開) Research Plan FY2017 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	ミャンマーにおける少数言語の基礎調査				
<p>現在、ミャンマー連邦共和国およびミャンマー・インド国境地帯には多様な少数言語が分布している。本研究の目的は、そうした言語のうち、研究蓄積が特に乏しいチン語支の諸言語およびビルマ語の地域方言を対象としてフィールドワークを行い、これらの基礎資料（語彙資料・音声資料・文法スケッチ）を蓄積していくことである。</p> <p>ミャンマーは近年の民主化により入域不可能であった地域が次々と開放され、従来調査不可能であったチン語支の言語やビルマ語の方言を調査する環境が整いつつある。それと同時に、政治的な基盤や経済的基盤を持たない少数言語は、近い将来消滅してしまう可能性も高い。</p> <p>以上の理由から、ミャンマーでの豊富な現地調査の経験を活かし、言語学的視点から少数言語を詳細に記録しようとするに至った。調査の成果を広く一般に向けて公開していくことで、ミャンマーおよびインドにおける少数言語の研究モデル構築も目指したいと考えている。</p> <p>今年度はチン語支におけるボム語とビルマ語の南東方言に調査対象を絞る予定である。具体的には、ミャンマーおよびミャンマー・インド国境地帯での現地調査を通して上記の言語の基礎資料を作成する計画である。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	3201				
キーワード Keywords*2	ミャンマー	インド	ビルマ語	チン語支	記述言語学